

人民币週間レポート

2026年5月8日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO 瑞穂銀行

【人民元為替概況】

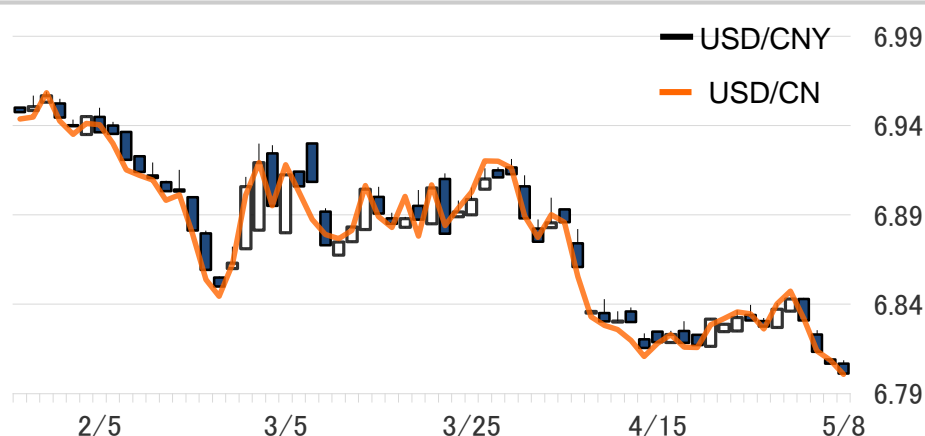
回顧: USDCNYは下げ幅を拡大、JPYCNYは為替介入を実施したとみられる動きから急騰

- ドル人民元 (USDCNY) は6日、6.82台前半でオープン後、USD安元高が進行する展開。午前に公表されたRating Dog中国総合PMIは53.1(前回51.5)、サービス業PMIは52.6(前回52.1)といずれも前回は上昇が確認されるも、為替相場の反応は限定的。6.81台前半では反発する場面もみられたが上昇の勢いは続かず。7日は6.80台後半でオープン後、ドル安元高が進行し下げ幅を拡大。6.8008まで下落。その後は、中東情勢を巡り、米国・イラン対立の再激化が懸念される報道が散見されたことを背景にドル買いが入り小幅に上昇するも、勢い乏しく、8日の11時時点では6.80台にて推移している。
- 円人民元 (JPYCNY) は6日、4.32台後半でオープン。4/30より断続的に本邦当局が為替介入を実施したと見られる値動きとなる中、6日のアジア時間午後にもUSDJPYは一時157円台後半から155円台まで急速に円高ドル安が進行。JPYCNYも4.32台から4.44付近まで円高元安が進行し、急騰する展開となった。円買いフロー一服すると、海外時間にかけて様子見ムードから動意に乏しい展開となり、4.35台半ばにてクローズ。7日は4.36台でオープン後、本邦為替介入への警戒感から様子見ムードが台頭するなか上値重く推移。4.35を挟んで動意に乏しい展開となった後、引けにかけてじりじりと値をさげ4.34台でクローズ。8日の11時時点では4.33台にて小動きとなっている。

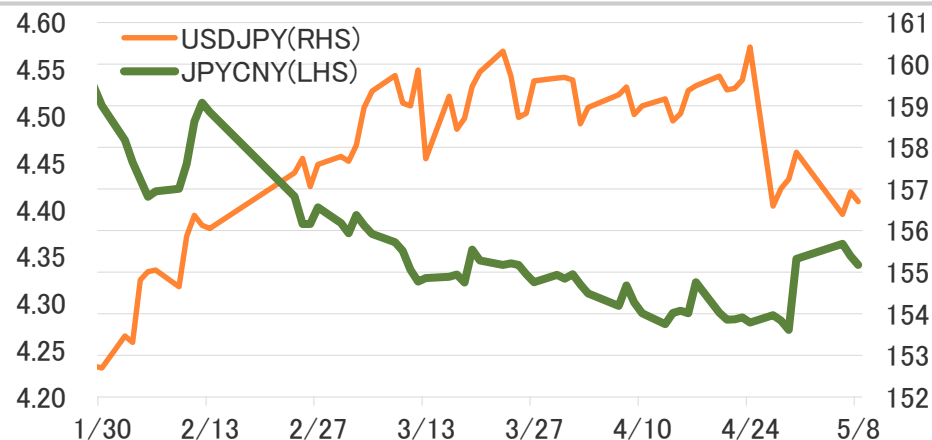
8日の見通し: 引き続き中東情勢関連ヘッドラインの振らされる展開を予想

- USDCNYは労働節連休明けもドル安元高が進行。足元6.80付近では下げ渋っているものの、反転の兆しは見られない。2023年2月以来となる6.80割れ水準までドル安元高が進行する可能性もあり、留意が必要。
- JPYCNYについては、本邦大型連休直前の4/30に為替市場にて介入を実施したと見られる動きから円買いが入り急騰。当局による介入への警戒感から、投機的な円売りフローは一服すると見込まれ、暫くは円が底堅く推移する可能性が高いと見込む。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



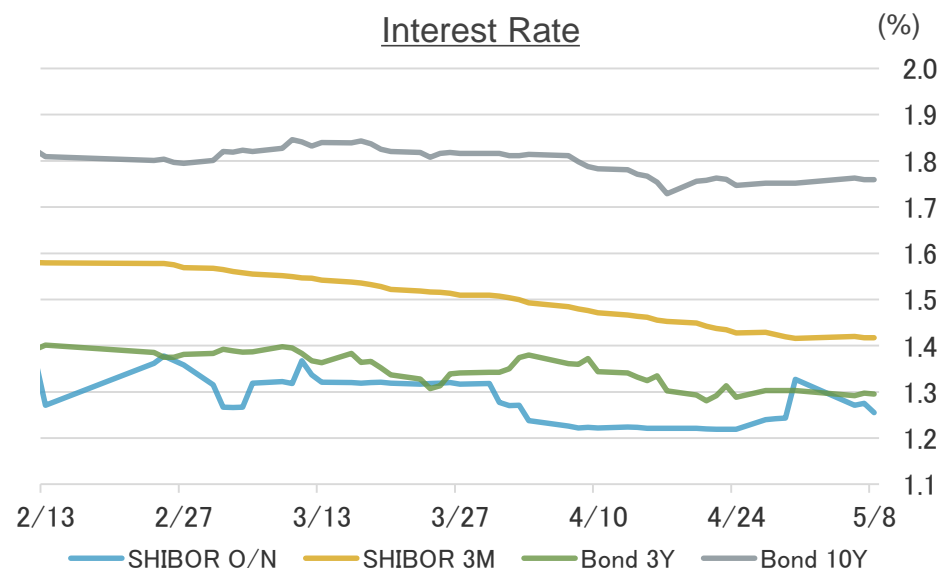
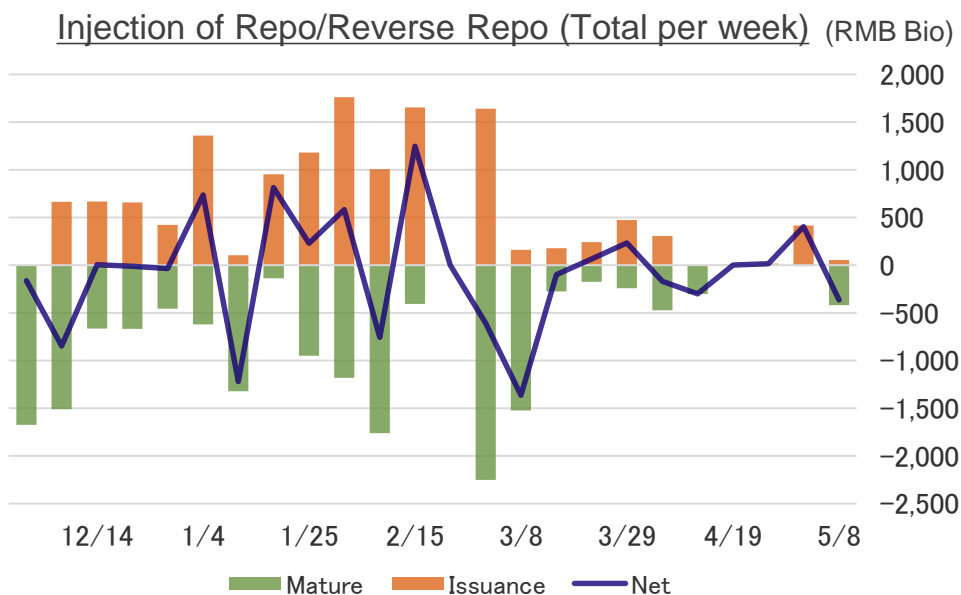
【人民元金利概況】

回顧: O/N金利は低位安定推移が継続

- PBOCは7日物リバースレポにより、合計535億元の資金供給を実施。満期到来分とネットで3,656億元の資金吸収となった。
- 短期市場は、PBOCより月末にかけて供給された資金の吸収が継続するも、流動性は潤沢な状況が継続。O/N金利は1.27%台で推移。
- 債券市場は、株式市場の上昇基調が継続する中、金利上昇。2年債利回りは1.28%近辺、5年債利回りは1.48%近辺、10年債利回りは1.75%付近にて推移。

見通し: 5月中旬に控えた米中首脳会談の関連ヘッドラインには注意

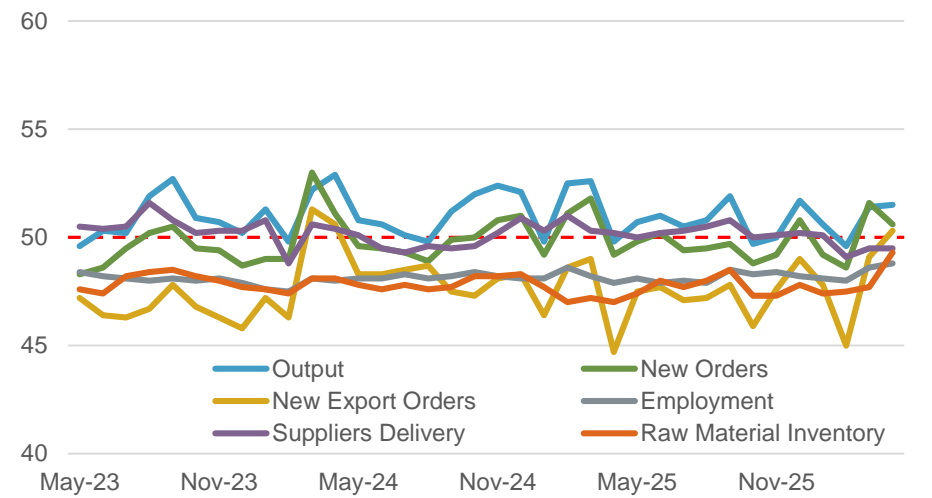
- 短期市場はネットで資金吸収となるも、引き続き安定した資金流動性が維持されており、来週にかけてもO/N金利は低位安定推移を見込む。
- 債券市場については、引き続き潤沢な資金流動性と中国当局による金融緩和姿勢が下支えとなり、底堅い推移を見込む。
- 海外市場においては先週FOMC・日銀・ECBなどの主要中銀イベントをこなし、引き続き中東情勢次第の状況が続くものと考えられる。また5/14-15の日程で米中首脳会談の開催が予定されている。通商協議関連のトピックが話題に上がる可能性もあり、関連ヘッドラインには警戒したい。



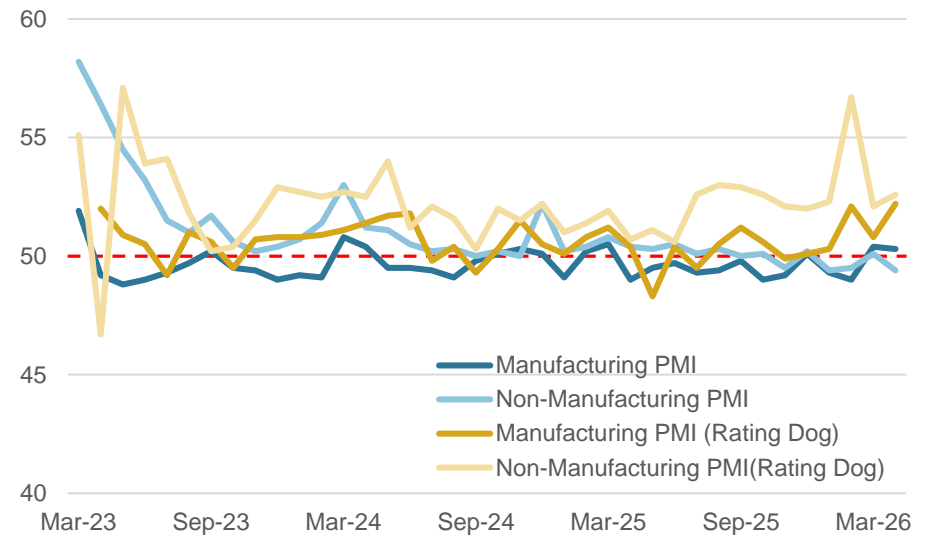
【TOPICS】 中国 4月PMIが公表

- 4月30日、中国国家統計局は4月PMIを発表。製造業PMIは50.3(予想: 50.1、前回: 50.4)、非製造業PMIは49.4(予想: 49.8、前回: 50.1)となった。また、同日公表された民間指標のRatingDog中国PMI(旧財新PMI)は、製造業PMIが52.2(予想: 51.0、前回: 50.8)、5月6日に公表されたサービス業PMIが52.6(予想: 52.0、前回: 52.1)となった。
- 企業規模別では、前回対比で中型企業・小型企業が改善した一方で、大型企業は50.2と小幅に低下。
- 国家統計局製造業PMIについては、2ヶ月連続で節目の50を上回った。項目別では、生産指数が51.5と前回(51.4)対比で小幅に上昇した一方、新規受注指数は50.6と前回(51.6)より低下。新規輸出受注指数は2年ぶりの高水準となる50.3(前回: 49.1)に上昇。中東情勢の悪化を受け、コスト上昇を懸念する買い手が前倒し調達を実施し、メーカーが増産に動いたと見られる。在庫積み増しが一巡すれば、新規受注は抑制される可能性もあり、今後の動向には注意したい。

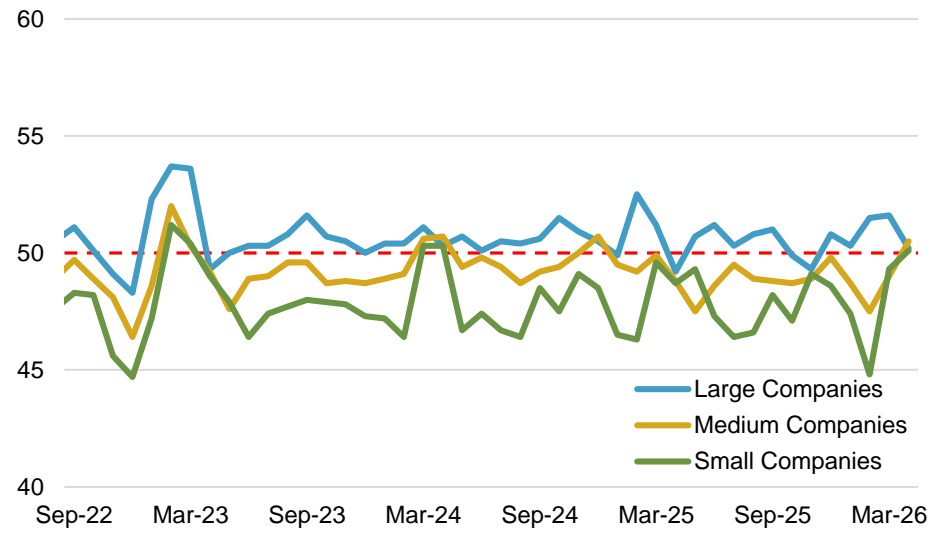
製造業PMI 主要項目推移



PMI (国家統計局及びRatingDog)



企業規模別 製造業PMI



【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
5/4	-	-	-	-	-
5/5	-	-	-	-	-
5/6	6.8230	6.8252	6.8102	6.8149	6.8562
5/7	6.8090	6.8092	6.8005	6.8015	6.8487
5/8	6.8068	6.8083	6.8006	6.8017	6.8502

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
5/4	6.8293	6.8350	6.8157	6.8309	6.8213
5/5	6.8310	6.8360	6.8262	6.8276	6.8320
5/6	6.8276	6.8285	6.8062	6.8138	6.8210
5/7	6.8138	6.8138	6.7958	6.8087	6.8039
5/8	6.8086	6.8099	6.7997	6.8007	6.8039

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	5/6	LOW	HIGH	5/8
ON	1.2710	1.2550	~	1.2550
1M	1.4000	1.3980	~	1.3980
3M	1.4200	1.4170	~	1.4170
6M	1.4480	1.4470	~	1.4470
1Y	1.4710	1.4690	~	1.4690

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	6.8230	6.8252	6.8005	6.8017
100JPY/CNY	4.3274	4.3747	4.3191	4.3411
EUR/CNY	7.9964	8.0279	7.9788	7.9975
HKD/CNY	0.87064	0.87064	0.86827	0.86848
GBP/CNY	9.2537	9.2854	9.2229	9.2568

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	156.88	157.94	155.04	156.93
EUR/USD	1.1740	1.1797	1.1677	1.1726
EUR/JPY	184.25	185.04	182.05	184.01
GBP/USD	1.3585	1.3643	1.3512	1.3555
AUD/USD	0.7202	0.7278	0.7136	0.7209

(Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穂銀行